

平成 30 年度

事業評価・主要施策成果報告書

豊 能 町

目 次

一般会計		1p
歳入の概要		6p
歳出（事業評価シート）		
議会事務局		13p
総務部	秘書政策課	18p
	総務課	33p
	行財政課	44p
	税務課	60p
生活福祉部	住民人権課	63p
	福祉課	76p
	保険課	86p
	健康増進課	97p
建設環境部	建設課	114p
	都市計画課	126p
	農林商工課	135p
	環境課	154p
出納室		162p
吉川支所		163p
教育委員会	教育総務課	167p
	教育支援課	190p
	子ども育成課	194p
	生涯学習課	200p
国民健康保険特別会計事業勘定		215p
国民健康保険特別会計診療所施設勘定		225p
後期高齢者医療特別会計		233p
介護保険特別会計事業勘定		241p
下水道事業特別会計		251p

○事業評価とは

事業評価は、町が行っている様々な仕事(事業)について、年度ごとに内容を点検し、より良い事業とすることを目的とした「PDCA(※)」の取り組みです。

事業評価では、事業の点検を行うだけでなく、事業にかかる課題を発見、特定し、改善案を考え、次の計画に活かすことを目的としています。これにより、限られた行政資源(ヒト、モノ、カネ)を有効に活用し、より良いサービスとすることを目指します。

また、事業評価は第4次豊能町総合計画の施策体系に沿って行っており、総合計画に基づく施策の進行管理の役割も担っています。

(※PDCA…Plan(計画)、Do(実施・運用)、Check(検証・評価)、Action(見直し・改善)の頭文字をとったもので、「計画」から「見直し・改善」までを行い、さらにそれを次の「計画」に活かす仕組みのことを言います。)

○平成30年度の事業評価について

平成30年度は決算書に記載された全事業を対象として事業評価を実施しました。一般会計については大事業(同じ対象や意図をもった事業のまとまり)ごとに、特別会計については会計ごとにシートを作成し、構成する事務事業の内容、主な成果、課題整理、総合評価及び改善の方向性を記載しています。

うち、課題整理は現状(昨年度に生じている)の課題、中長期(今後生じるとと思われる)の課題について、事業の進捗管理、内容、費用対効果の3つの視点で内容と要因を記載しています。この課題整理を受けて総合評価と改善の方向性を記載しています。

※構成事務事業の事業費について

- ・事業費は千円単位で記載しており、事業の合計額が決算書の額と異なる場合があります
- ・前年度の決算額については、今年度と同じ事業を行っているもののみ記載しています